

平成 23 年度 牧之原市津波避難訓練（夜間の部）概要

1 訓練の目的

本年度においては、5月の緊急津波避難訓練をはじめ、総合防災訓練、地域防災訓練など突発的な地震発生時の住民避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通して、避難経路、避難場所、避難施設などを点検、検証してきた。

津波災害に対する意識の高揚を目的に、夜間において避難訓練を実施し、避難場所の再確認や、夜間における避難経路・所要時間の確認を行い、避難行動時における安全性の確保をするものである。（夜間における危険箇所の確認、懐中電灯等の非常持出品の確認等）

2 実施日時

3月6日（火） 午後7時00分～午後8時15分

※津波対策推進旬間（3月6日～3月15日）における行事の一環として実施

3 参加機関

県、市、警察、消防署、津波危険予想地域内の住民及び自主防災組織

4 訓練想定（勤務時間外）

3月6日（火）の午後7時20分頃、伊豆半島沖合で強い地震が発生した。

（想定震度6弱）

気象庁は、午後7時23分、静岡県沿岸部に「大津波警報」を発表した。

市は「大津波警報」受信後、直ちに災害対策本部を設置し、情報伝達、災害対策を実施し、避難誘導までの訓練を実施する。

5 訓練内容

午後6時30分 訓練事前広報：同報無線

午後7時20分 伊豆半島沖合にて地震発生：サイレン吹鳴（1分間）
<避難開始>

午後7時23分 「大津波警報」受信
大津波警報発令広報

午後7時25分 萩間川相良水門の開閉訓練（案）
警察・消防署による避難監視パトロール（案）

午後7時40分以降 情報伝達訓練：配備状況報告、市本部要員は安否確認伝達

午後7時50分以降 情報伝達訓練：避難状況報告（各区避難者数集計後）

午後8時15分ごろ 訓練終了広報：同報

※避難して来た住民は、点呼等確認が済めば適宜解散しても可とする

6 訓練重点項目

○津波危険予想地域の周知

○避難場所や避難経路等の確認

○避難場所へ到着するまでの所要時間の確認

○夜間における避難行動の安全性の確保

（危険箇所の確認、懐中電灯等の非常持出品の確認）

○家族全員による避難訓練への参加（家族における安否確認伝達方法の確認等）

○自主防災組織における情報伝達訓練

（自主防区域内の避難状況等の早期把握と情報伝達）